

# 科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

112

## 米中欧の戦略

2021年1月に就任した米国のバイデン大統領は、パリ協定への復帰と、50年の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量実質ゼロに向けた大型投資を決めた。未来の産業と位置付ける人工知能(AI)や量子などに対する研究開発投資を前政権から継続して加速する方針である。

一方、中国は建国100年に当たる49年までに世界一のイノベーション強国になることを目標に、半導体や部材の自給率7割を目指す「中国製造2025」への追加投資を計画している。

活動を一時停止し、越境移動が制限された多くの大学や研究機関がコロナの世界はグリーンとデジタルを両輪に活動する。ポストコロナの先を行っており、対する欧州では21世紀も研究開発の自由と企業の産業競争力を維持するために域内の「デジタル主権」確立が急がれるとの危機感が広がっている。これを受け、欧州では

「研究開発の俯瞰報告書」より

## 「研究開発の俯瞰報告書」より 5

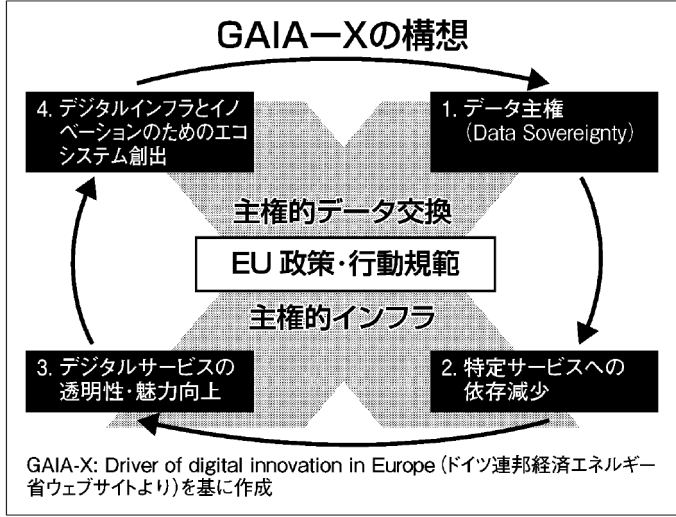
# コロナ後の世界 グリーン・デジタルけん引

一方、中国は建国100年に当たる49年までに世界一のイノベーション強国になることを目標に、半導体や部材の自給率7割を目指す「中国製造2025」への追加投資を計画している。



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センターフェロー(海外動向ユニット) 澤田 朋子

00年ミュンヘン大学政治学部大学院修了(国際政治学専攻)。帰国後はIT系ベンチャー企業でウェブマーケティング事業の立ち上げに参加。13年より現職。



(金曜日に掲載)